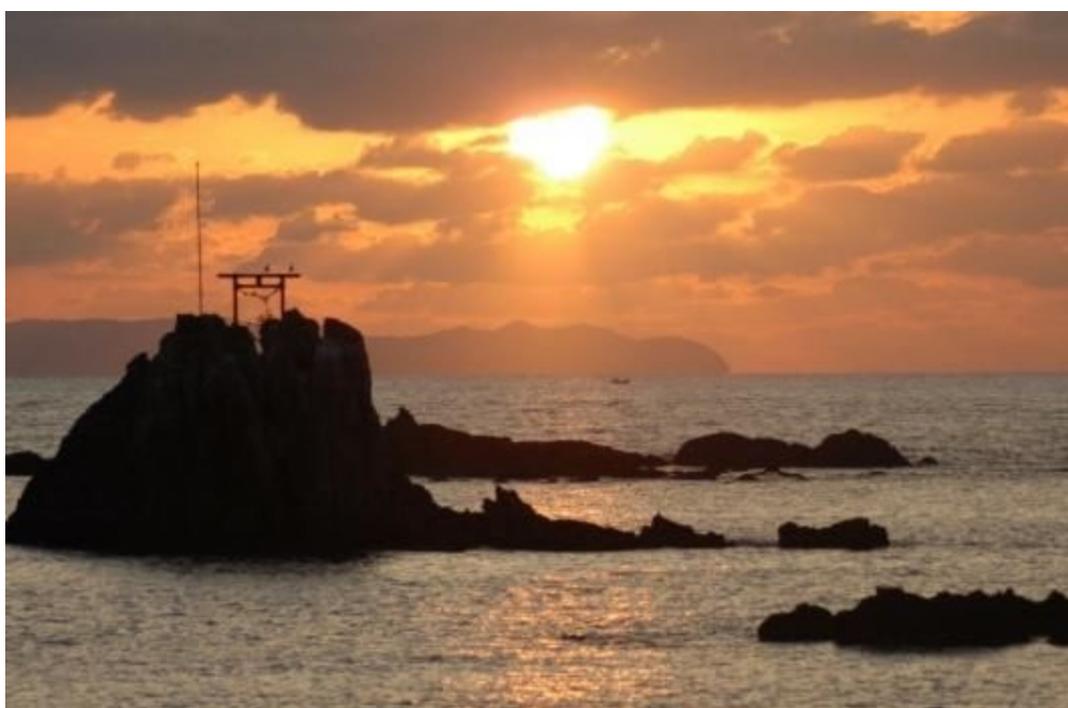


# サンセット牛之浜景勝地「道の駅」 全体構想



令和元年7月

「サンセット牛之浜景勝地」の道の駅全体構想策定委員会

はじめに

阿久根市は、鹿児島県北西部に位置し、高松川河口の阿久根漁港を中心に古くから海上・陸上交通の要衝として海運業・商業などで栄えたまちです。北部は激流が渦巻く日本三大急潮のひとつ黒之瀬戸を隔て長島町と接し、東部は出水市、南部は薩摩川内市と接しています。東シナ海に面した約40キロメートルにも及ぶ美しい海岸線や沖合およそ2キロメートルに浮かぶ阿久根大島は、海水浴や釣りの名所として知られており、毎年多くの観光客が訪れます。

交通網については、国道3号、国道389号や県道等の主要幹線道路が交差し、高規格幹線道路については、南九州西回り自動車道の整備が進められ、阿久根市と出水市を結ぶ「出水阿久根道路」(約15キロメートル)は全線開通しています。また、阿久根市と薩摩川内市を結ぶ「阿久根川内道路」(約22キロメートル)についても、平成27年に新規事業化され、同自動車道全線開通に向け、地元住民の機運はさらに高まっています。

南九州西回り自動車道は、広域的な交流ネットワークの形成に必要な幹線道路として地域活性化に大きく寄与するとともに、災害時における広域避難や物資輸送にも重要な役割を果たすものであり、早期の全線完成は地域全体の強い願いであります。

このように、阿久根市としては、南九州西回り自動車道の全線開通に向けて、強い熱意と大きな期待を持つ一方で、国道3号のバイパス機能も併せ持つ同自動車道の利用拡大により、阿久根市が通過点になるのではないかと懸念もあるところです。

今後、南九州西回り自動車道が開通し、阿久根付近の交通量が2倍以上増加することが見込まれる中、魅力あふれる地域づくりをさらに進めていくためには、阿久根市が持つ「食」や「自然」に歴史や文化のストーリーを付加して観光コンテンツとして磨き上げるとともに、地場産品やサービスを提供する場が必要であり、南九州西回り自動車道の全線開通を見据えた取り組みが急務となっています。

また、南九州西回り自動車道の開通により、阿久根市と近隣の薩摩川内市や長島町などを含めた『南九州西岸地域』のつながりが、これまでの国道3号を介した“線としてのつながり”から、“軸としての太い絆”により結ばれることになり、互いに協力・連携した地域づくりを行うことで、その効果をより広域的に波及させることが可能となります。

そして、「休憩機能」、「情報発信機能」、「地域連携機能」を併せ持つ「道の駅」は、産業振興、観光、防災、地域コミュニティなど地域の個性、魅力を生かしてひとを呼び、阿久根市と近隣地域の活力を生み出す拠点として、地方創生の観点からも注目されています。

これらのことから、県指定文化財(名勝)に指定された鹿児島県を代表する景勝地であり、風光明媚な「牛之浜海岸」付近に南九州西岸地域の魅力あふれる交流拠点として活用が期待できる「道の駅」を整備するため、全体構想を策定しました。

# 目 次

・道の駅の整備目的.....	1
- 「道の駅」とは.....	1
1. 「道の駅」の基本コンセプトと機能.....	1
2. 整備主体と整備方法.....	2
3. 登録要件.....	2
4. 「道の駅」による地方創生拠点の形成.....	3
5. 災害時における「道の駅」の役割.....	5
6. 阿久根市及び近隣の「道の駅」の立地状況.....	6
- 阿久根市、薩摩川内市、長島町の現状.....	7
1. 阿久根市の特徴.....	7
2. 薩摩川内市の特徴.....	8
3. 長島町の特徴.....	8
4. 阿久根市、薩摩川内市、長島町の観光動向.....	9
5. 阿久根市、薩摩川内市、長島町の地域振興に係る上位・関連計画.....	12
- 南九州西回り自動車道の概要.....	15
- 「道の駅」整備の必要性.....	16
1. 南九州西回り自動車道利用者に対する快適な休憩機能の創出.....	16
2. 来訪者や道路利用者に対する効果的な情報発信機能の創出.....	19
3. 阿久根市と近隣地域がつながる地域連携機能の創出.....	21
- 「道の駅」の整備候補地.....	24
・整備コンセプト.....	26
- サンセット牛之浜景勝地「道の駅」の基本的方向性.....	26
- 整備コンセプト.....	27
・導入機能.....	29
- 道の駅として必要な導入機能の検討.....	29
- 「道の駅」阿久根を考慮した機能配置方針.....	34
・施設配置計画.....	36
- 機能別必要規模の検討.....	36
- 導入機能配置計画.....	45
- 概算事業費.....	48